



さんびょう 三錨

本気に 元気に 根気よく
四日市市立富洲原小学校
学校だより NO. 8
令和4年 5 月 26 日

●マスクの着用について

テレビ等の報道でも出されていましたが、5月20日、厚生労働省から「マスク着用の考え方及び就学前児の取り扱いについて」が発出されました。そこでは、「マスクの着用は引き続き基本的な感染対策であること」「身体的距離が確保できないが、会話をほとんど行わない場合のマスク着用の考え方を明確化すること」等が示されました。それを受け、政府からの「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」が変更され、文部科学省からも「学校生活における児童生徒等のマスクの着用について」の指針が出されました。そして、三重県教育委員会を経て四日市市教育委員会より以下のように通知がありました。

「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」等を踏まえた対応を基本としつつ、身体的距離が十分に確保できないときは、児童生徒にマスクの着用を指導する。気温・湿度や暑さ指数が高い夏場においては、熱中症対策を優先し、マスクを外すこと等を指導する。

四日市市教育委員会からの具体的指示は以下のとおりです。

- ① 登下校については、熱中症予防の観点からマスクを外すように指導すること
 - 屋外であり、他者との距離が確保できるため、熱中症対策を優先しマスクを外すように指導する。
 - 距離が確保できない場合であっても、会話を控えることを指導した上で、マスクを外すように指導する。
- ② 体育や部活動については、熱中症予防の観点からマスクを外すように指導すること
 - 但し、練習場所や更衣室等、食事や集団の移動に当たっては、マスク着用を含めた感染対策を徹底する

③ 教室など屋内での授業中では、状況に応じてマスクを着用すること

- 他者と距離が確保できない場合には、マスク着用を指導する。
- 距離は確保できても会話をする場合には、マスク着用を指導する。

★以上の点をうけ、本日、子どもたちに話をしました。内容は以下のとおりです。

(1) 登下校中の件

- 熱中症の心配があるので、登下校時、マスクを外しても構いません。
- 新型コロナウイルス感染症への心配や不安のある子はマスク着用をしていても構いませんが、熱中症予防のために一時的にマスクをはずしたり、水分補給をしたりしましょう。
- マスクを外した場合は、友だちとの距離(2 m 程度)を保つようにします。「横に並んで話をする」というのはリスクがあります。加えて、登下校中にもできる限り、話をしないようにしましょう。
- 登下校の途中で水分補給をしても構わないです。ただし、歩きながらは飲まないようにしましょう。安全な場所で立ち止まって飲みましょう。
- 下校前に水分補給をしてから帰りましょう。
- 必要な人は、「クールネックタオル」を利用しましょう。(記名をお願いします。)
- 登下校中に気分が悪くなった場合は、まわりの大人や友だちにすぐに伝えるようにしましょう。
- 登校中にはずしていたマスクは、朝、校舎に入る前に必ずつけましょう。



(2) 休み時間の件

- とても暑く、心配な場合は、マスクをはずしても構いません。
- 遊具に密集していたり、たくさんの子たちが集まったりするような活動のとき(感染リスクが高いときは引き続きマスクを着用しましょう)。
- 休み時間終了後は、「外で手洗い・手指消毒」⇒「マスクをはめる」⇒「上靴にかえる」⇒「教室へ向かう」という動線で行きましょう。
- 遊んでいて、「あれ、体調がわるいぞ。」というときは、マスクを外し無理をせず日陰に入ります。

- 必ず水分補給をしましょう。なお、お茶が無くなったときは、学校の水道水は安心ですので飲んでも構いません。必要な人は、多めにお茶を持ってきました。

(3) 授業中の件

- 教室等、距離が確保できない屋内はマスクを着用します。その際は、気温等をみながら、空調等を利用します。(ただし、換気のために窓は一部あけておきます。)
- 必要な際には、授業中も水分補給を行ったり、一度マスクを外したりするなどの指示をします。

あわせて、次のことについて話をしました。ぜひ、ご家庭でもお子さまに合わせてお話しいただければありがたいです。

暑い時期になってきました。みんなが、熱中症になってしまうことはとても心配なことです。そういうことから、「登下校中や休み時間にマスクを外しても構わない」ということをみんなに伝えました。

ただし、新型コロナウイルスが収まったわけではありません。マスクを外して、くっついて話をすること、くっついて遊ぶことは感染の可能性があります。現在も「お互いに2m離れることが大切です」と言われています。

何度も言いますが、新型コロナウイルスが終わったわけではありません。あなたやあなたの大切な人を守るために、少し窮屈かもしれませんが、一緒に頑張りましょう。

本来ならば、子どもたちが、「2mの距離を保てないから、遊具で固まって遊ぶのはやめようかな…」、下校も「今なら誰もいないからマスクをはずしても大丈夫だなあ…」「人がたくさん集まっているから、一度はずしたマスクも、もう一度はめたほうがいいなあ…」「少しだけ外そうかな…」「外したから、おしゃべりを少なくしようかなあ…」などと考えられるといいのですが、年齢差や個人差もあり、判断できない場合もたくさんあります。ぜひ、ご家庭でも、「こういう場合は、こうやってするといいね。」「このときはマスクを外してもいいよ。」などと具体的に話をしてください。よろしくお願いします。

